

伴走支援の効果で五里霧中の状態から念願の創業が実現！

Angel Heart Nursery(千葉県)

相談者の長年にわたる保育士の経験を生かし平成27年12月に大網白里市にオープンした保育園。

1. 相談のきっかけ

相談者は、保育園運営を検討していた折、大網白里市の小規模保育園の認可を受けられたこと機に、創業を決意。

当拠点の創業セミナーを受講しHP全般の相談を実施。その後、セミナー講師を務めた伊藤SCOが当拠点で個別相談を行っていることを知り来訪に至った。



2. 課題整理・分析

○創業に当たり、認知度を向上させ保護者へのサービス提供のために、HPやメールでの情報発信業務が必要であった。

○また事業者は、経理業務でのパソコンの活用、園児の写真や動画を父兄が見られるシステムの将来的な導入も希望していた。

○しかし、事業者は保育園勤務時代に「園だより」をパソコンで作成していたが、パソコンを持っておらず、IT・印刷などに関して知見が無く、どこから始めてよいのか全く分からない状態であった。

⇒以上より、事業者の強い思いを消すことなく、創業までのタスクをひとつひとつ着実にクリアしていく必要があった。

3. 解決策の提案

保育方針やタスク、HPで必要そうなコンテンツ、販促ツールの構成などは事業者が全て1冊のノートにまとめていた。そのためこのノートを生かし、実現するための手法について伴走しながら助言提案した。

⇒IT知識については、パソコンの選定の助言、HP作成ツールの紹介や申込手続きの案内、ドメイン名やメールアドレス決定に際しての留意点を助言。

⇒挨拶回りに必要な名刺の作成についても、事業者のイメージスケッチどおりの物品発注ができるよう、発注先選定、スケッチのデータ化、発注方法について助言。

⇒カタログの内容についても、レイアウトやコンテンツについて提案。

4. 成果

○事業者がノートに手書きでしかまとめていなかった様々なイメージを、当拠点からのひとつひとつの助言を踏まえ、HP作成やメールアドレスの設定等の情報発信体制の整備、名刺やカタログの作成を次々に実現。

○オフィスソフトについての操作もレクチャーする等、自身で各種制作が可能となるまで当拠点が伴走支援を実施。その結果、事業者は経営ノウハウをでき、平成27年12月には創業が実現した。

【相談者の声】

お金さえあれば人に頼んでしまえば良いが、創業者はなかなかお金などのリソースが割けず、また新しいことをやってみたくても、きっかけがなく二の足を踏んでしまう人も多いと思う。今回当拠点の支援を受けることで、背中を押してもらったり、力を貸してもらいながら新しいことに挑戦でき、とても大変で苦しかったが、とても愛着は大きく、世界が広がったと感じている。子供は新しいことができるのととても喜んでいる。大人も同じだと思った。

小規模保育とは

0-3歳児未満を対象とした定員が6-19人の少人数で行う保育です。
(当園は、12人)
一人の保育スタッフが担当する子どもの人数が少ないため、手厚く子どもたちの発達に応じた質の高い保育を行うことができます。

小規模保育の法制化

2015年より、子どもの保育・子育て支援を総合的に進める新しい仕組みの一端として「子ども・子育て支援法」が施行され、その中で小規模保育施設は「小規模認可保育所」となり、国の認可事業として位置づけられています。

小規模保育だからできること

～子どもの興味にそった保育～
決まったプログラムを実施するだけでなく、子どもたちの興味に応じて、その日の活動を臨機応変に変更できます。
～子どもの個性に合わせた保育～
集団に馴染めない子どもにも丁寧に対応します。

Angel heart nursery

保育理念

子どもたちは、無限の可能性を秘めています。その可能性をぐんぐん引き出すためには、子どもが持っている感覚や感性を大切に一人ひとりの子どもに寄り添った保育をしています。

保育の基本方針

～5つの特徴～

- ・元気な体を育てる
- ・好奇心・探究心を育てる
- ・個性を育てる
- ・思いやりの心を育てる
- ・保護者への安心を提供する

自分を誇った

子どもたちが、自分たちで考えたことを発表する機会を大切にしています。

「自分で行った」「自分で決めた」
おうちに戻ったら
「～できるよになったな、
と褒めてもらえる

信頼と安心

子どもたちの安全と情緒的保育を基本に家庭との連携を大切にし、安全な保育環境を心がけます。子どもの様子を伝えたい、話し合いながら明るく、笑顔と愛あふれる場所づくりをしています。

<保育園の案内チラシ>